



あこう通信

「今日も楽しかった。明日も楽しみ。」と思える学校を創ろう

～いい顔 いい声 いい心～



発行：令和7年4月9日（水）NO2 文責：副校長 津田 幸一

学校 HP URL <http://www.nagasaki-city.ed.jp/kosakaki-e/index.html> （2次元コードからどうぞ）

本格始動 ～入学式～

4月9日（水）は入学式でした。

新入生の保護者の皆様におかれましては、お子様のご入学おめでとうございます。

新入生は、やや緊張しながらも立派に式に参加していました！

期待に胸を膨らませて入学した116名を加えて、令和7年度の小榊っ子683名の本格始動です。

始業式

新しい学年・学級

担任の先生 専科の先生だれなんだろう？



学級開き

どんなクラスになるのだろう？



6年生は学年集会をもち、「学年開き」を行いました。

入学式 2年生も大活躍

ようこそ小榊小へ！ご入学おめでとうございます



学年・学級目標を創る

4月7日、クラス替えがありました。子どもたちは、新しい環境に胸を高鳴らせていることと思います。

きっと、お子様も前向きな話題をご家庭に提供していることでしょう。

私たち教員にとって、4月第1週目は特別な期間ととらえています。なぜなら、子どもたちのモチベーションが最も高まっている時期であると知っているからです。この期間の指導には大きな効果があり、今後の学年・学級経営を方向付けます。

一方で、4月のモチベーションを1年間維持持続させるのはなかなか難しいことです。このことに担任は注力します。

さて、いったいどうしたらよいのでしょうか。

授業を中心とした教育活動が充実すること、交友関係が安定していくこと、安心安全な環境が整備されていくことなど、いろいろな条件を整えていく必要があります。

私は、その土台になるものが、「**目標の共有**」だと考えます。

つまり、学年・学級目標をどのような過程で創るのか、どのようにして実現を目指す当事者として意識化させていくのが重要になります。

これこそが、学年・学級経営の肝だと思っています。

クラス替え直後の4月学級は、まだいろんな個性の「集合」でしかありません。時間経過とともに「集団」に育っていきます。

学級経営とは、「集合」を「集団」にしていくな作業です。そして、学級崩壊とは、「集団」にできなかったときにおこるのです。

子どもたちが目標を共有することは、集団としての結束を高め、目標達成に向けて力を合わせるために非常に重要です。目標共有によって、以下のような効果が期待できます。

○一体感の醸成

共通の目標をもつことで、児童間に一体感が生まれ、協力し合う意識が高まります。

○モチベーション向上・持続維持

目標を共有することで、児童は自身の役割と目標達成とのつながりを理解し、モチベーションを維持できます。

○コミュニケーションの活性化

目標に関する情報共有や意見交換が活発になり、学年・学級内のコミュニケーションが円滑になります。

○生産性の向上

目標が明確になることで、児童は効率的に行動できるようになり、全体の生産性が向上します。

○役割分担の明確化

目標を共有する事で、児童それぞれの役割を明確にする事ができます。

○目的意識の向上

目標を共有する事で、何の為にこの目標を達成するのか、という目的を全体で共有する事ができます。

4月中には各学年・学級で目標設定があると思います。

ぜひ、お子様に、「**どのような目標であるのか**」「**その実現のために何をしようと思っているのか**」について尋ね、ご家庭で話題とされてください。